



「いずみ保育園 5 歳児 ぞう組」

「おかいこさま そだてたよ!!」



かみじ

社会福祉法人羽黒百寿会

第 58 号
2021. 8. 1

令和2年度 社会福祉法人羽黒百寿会 決算の概要

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、収入の部では減収といった結果も想定されましたが、地域の皆様のご理解や支えや、法人職員の努力により平成27年度より5年連続の増収となっております。また令和2年度より市立大東保育園・いずみ保育園が鶴岡市より指定管理となりました。保育所拠点の収入は基金繰入れがあったとはいえ、支出を上回る結果となりひとまず安堵を致しているところです。法人全体として新型コロナウイルス感染症対策に対して、国と市から補助金収入があり、マスクやプラスチックグローブ、消毒液、非接触型体温計などの感染予防備品を購入いたしました。

支出の部は、人件費が大東・いずみ保育園の職員が増えた事もあり前年度対比で増となりましたが、水道光熱費や燃料費では、LED・太陽光パネルの効果や燃料単価の見直しにより前年度より大幅節減する事がで

きました。今後も安定した経営を維持できるように法人全体で取り組んでまいります。

新型コロナウイルス感染症対策として、利用者に対する利用制限や入居者家族の面会制限、職員に対する行動自粛・自宅待機要請など、感染防止に努めてまいりました。また、法人の地域における公益的な取り組みとして計画しておりました認知症予防研修会、及びイベントなどへの職員派遣の協力要請についても新型コロナウイルス感染症予防のため中止となりました。

まだまだ新型コロナウイルス感染症の影響が継続するものと思われますが、感染防止に努めながら、地域の皆様には質の高いサービスを提供できるよう、地域の老人福祉・児童福祉の為に職員一同まい進してまいります。今後も、地域の皆様方のお力添えをよろしくお願いします。

令和2年度 社会福祉法人 羽黒百寿会 決算報告

【貸借対照表】

資産の部		負債の部	
流動資産	367,892,929	流動負債	68,375,775
固定資産	1,249,687,015	固定負債	64,975,308
		負債の部合計	133,351,083
		純資産の部	
		基本金	15,800,000
		国庫補助金等特別積立金	157,877,905
		その他の積立金	352,000,000
		次期繰越活動収支差額	958,550,956
		純資産の部合計	1,484,228,861
資産の部合計	1,617,579,944	負債及び純資産の部合計	1,617,579,944

※固定負債：退職給付引当金

※流動負債：事業未払金
預り金
職員預り金
賞与引当金

【事業活動計算書】

(単位 / 円)

サービス活動増減の部	サービス活動収益計	1,041,685,855
	サービス活動費用計	1,029,117,233
	サービス活動増減差額	12,568,622
サービス活動外増減の部	サービス活動外収益計	7,445,469
	サービス活動外費用計	4,484,550
	サービス活動外増減差額	2,960,919
経常増減差額		15,529,541
特別増減の部計	特別収益計	2,431,000
	特別費用計	7,906,450
	特別増減差額	-5,475,450
当期活動増減差額		10,054,091
繰越活動増減の部	前期繰越活動増減差額	891,492,353
	当期末繰越活動増減差額	901,546,444
	その他の積立金取崩額	57,000,000
	その他の積立金積立額	△ 4,512
	次期繰越活動増減差額	958,550,956

社会福祉法人羽黒百寿会 役員等の改選

理事長

中村 博信
(上野新田)

常務理事

武田 功之
(下長屋町)

理事

勝木 正人(池ノ仲)

齋藤 敬(楯東)

佐藤 いく子(水沢)

齋藤 源一(大口)

遠藤 勇(川代山)

監事

岡部 明(楯東)

原田 敏美(入江町)

評議員

榎本 トヨ(山荒川)

天野 俊秀(桜ヶ丘)

百瀬 ゆり(上野新田)

岡部 富美(楯東)

五瓶 忍(町屋)

寺岡 儀平(桜小路)

富樫 茂秀(上長屋町)

富樫 正井(狩谷野目)

苦情解決 第三者委員

岩城 一重(黒瀬)

山口 弘男(仙道)



新型コロナワクチン接種しています

かみじ荘でも5月25日(火)から嘱託医である佐藤医院のご協力のもと、入所者・介護従事者の新型コロナワクチン集団接種が始まりました。入所者と介護従事者が同時に接種し、より感染リスク軽減を図っております。接種した入所者には目立った副反応はなく、経過観察を行いながら順調に進められています。概ね8月10日(火)までには入所者の方々の接種2回目が終了する予定です。

当施設では「新しい生活様式」の中で基本的な感染対策を継続しておりますが、一日も早く新型コロナウィルスの脅威の無い生活に戻れるよう、ワクチンの効果に期待したいものです。



職業体験 イベント

WAKU WAKU WORK

に参加しました



令和3年6月2日(水)鶴岡中央高等学校で開催されたWAKU WAKU WORK(ワクワクワーク)2021に参加してきました!

同校総合学科2年生の生徒に対して、地域の企業15事業所が企業説明や地域で働く良さを高校生に伝え、仕事についての興味や関心を持ってもらうことを目的とした催しです。

かみじ荘では高齢者に適した食事形態の説明、機能低下を予防する体操、介護負担軽減に向けた福祉用具(マッスルスーツ、自動ブレーキ車いす)の紹介を行いました。数名の生徒から介護現場は大変だというイメージが強くありましたが今回実際に体験したことにより将来介護の仕事をしてみたい等、嬉しい感想をいただきました。今後もこのような機会があれば、介護の仕事を身近に感じてもらえるよう積極的に参加していきたいと思います。



デイサービスセンターかみじ荘

／ 自宅で手軽にできる運動でコロナに負けない身体をつくろう!! ／



新型コロナウイルスの感染の拡大によるレクリエーションや外出の自粛のため、高齢者の運動量は約3割減少していると言われています。運動量が低下することで身体機能の低下や転倒が心配されます。そこで、今回は家庭でできる簡単な運動を紹介します。1日2セット位を目安に行いましょう。



① つま先上げ



主にすねの筋肉を鍛えます。つま先を天井へ向けるように持ち上げ、ゆっくり下ろします。(10回程度)

② 踵上げ



主にふくらはぎの筋肉を鍛えます。踵をしっかりと上げて、ゆっくり下ろします。(10回程度)

③ 膝伸ばし



主に太ももの筋肉を鍛えます。つま先を天井へ向けて膝をしっかりと伸ばします。膝を伸ばしたまま5秒程度とめましょう。(左右5回程度)

④ 足踏み



主に足の付け根の筋肉を鍛えます。膝を胸に引き付けゆっくり戻します。上半身を動かさないよう左右交互に行います。(左右合わせて20回程度)

運動時の 注意 点

- 呼吸は止めずに、反動はつけないで丁寧に動かしましょう。
- 痛みがある時や、体調が悪い時は無理をしないようにしましょう。
- 運動の前後には水分をしっかり摂りましょう。



皆さんも一緒に
体力作りを
しませんか!

デイサービスセンターかみじ荘の利用者の方々も、ボールや重りを使いながら体力作りをしています。足がこんなに高く上がるようになりました。

羽黒高校の生徒さんが来ております



羽黒高等学校の2年生の5名の生徒さん達がプロジェクトスタディ(※探求型学習)として、当施設の利用者の方々と一緒に上半身の筋力低下を防ぐ運動を週1回7月から行っております。

※探求型学習とは、生徒自らが課題を設定し、解決に向けて情報を収集・整理・分析したり、周囲の人と意見交換・協働したりしながら進めていく学習活動のことです。

大東保育園

今年は0～5歳児の32名の園児をお預かりしています。大東保育園はいつも保護者や地域の皆様から温かく支えて頂いており、親子行事への参加、黄金堂での七五三祈祷、羽黒登山での案内、畑の畝づくり、草刈りや除雪等のお力添えには心から感謝しております。

子どもたちもこの地域が大好きで、散歩や森探検をたくさん楽しんでいます。人と心地よく関わる力を育みながら、主体的に遊びや生活が楽しめる子をめざし、一人一人の思いに寄り添いながら保育を進めています。

【森探検の様子】
市のフォーラムで紹介されます。
子ども達は、様々なことを
感じ取っていきます。



おかいこさまの
繭作り



泡作り
遊び



きゅうりの収穫

いずみ保育園

昨年度からのコロナの影響で保育の運営もコロナ禍となり、手指消毒やマスク着用、給食提供時のパーティションパネル使用などが日常化になってきました。親子行事においては時間短縮、年齢クラスでの開催など、内容変更はありましたが、開催できたことは良かったと思っています。また、手洗いの習慣化から衛生的に過ごすことの大切さに気づき学びに繋がっています。

令和3年度、園児105名、今年度も地域の自然環境を活かした保育、一人一人の思いや気持ちに寄り添う保育を目指し保育運営を行っていきます。

貴船保育園

今年度は7月現在で園児118名をお預かりしています。一人一人に寄り添い、生活や遊びを通して年齢なりの経験を重ね、心身共に成長できるように保育に努めています。

この時期はダイナミックに水をたっぷり使い水遊びや泥んこ遊びを通して開放感を感じると共に、ダム作りやトンネル作りでは子ども同士で協力しあって一つのものを作る面白さを味わっています。これからもいろいろな遊びを通して豊かな感性や想像力を育んでいきたいと思っています。



ヌルヌル面白い!!

泥んこ
あったかいねえ～



力を合わせて
ダム作り!

社会福祉法人羽黒百寿会 総合企画部について

- 介護保険制度が施行され20年が経過しました。急速な高齢化、少子化による生産年齢人口の減少を背景に、法人として今後の事業運営をどのようにしていくか各事業所横断的に検討するため、令和3年4月から新たに組織機構改革を行い総合企画部として位置づけしました。

業務内容 ① 法人中長期経営計画の策定 ② 介護福祉計画策定 ③ 各事業所収益の総合調整

- 上記の項目を中心に、当法人の自主的な経営分析のもと経営状況を適切に理解し改善に取り組めます。また当法人の財源状況への理解を深め今後どのような事業を展開すべきかを検討していきます。

※介護福祉計画：市が3年毎に作成する介護福祉全般の取組み指針を定める計画

\\ ホームヘルパーがお伺いします // 指定訪問介護事業所かみじ荘

TEL 0235-62-2007

ホームヘルパーって何？

- 「訪問介護士」の総称で、自宅に出向き介護サービスを行います。
- ホームヘルパーは主に ①身体介護サービス ②生活支援サービス の2つのサービスを行います。
- ホームヘルパーはヘルパー1級・2級や介護福祉士などの資格を保有し、介護サービスの専門知識や技術を有しております。

①身体介護サービスとは？

食事、入浴、排せつ、着替えなどの直接身体に触れて行う介助や自立支援のための見守りの援助を行う事。

②生活援助サービスとは？

日常生活を送る上で必要な家事サポート（調理、掃除、洗濯、買い物、薬取りなど）を行う事。



ヘルパーサービス利用におすすめな方

- 最近、一人で入浴する事が大変になり手伝ってもらいたい。
- すでにショートステイやデイサービスを利用しているが、利用の無い日に自宅で介護サービスを必要としている。
- 親の身の回りの世話をしているが、自分自身も高齢になり体力的に負担を感じているので、介護のプロに手伝ってほしい。



ご連絡
ください

自宅での生活を続けたい方、続けさせたいご家族様、生活のどういったことに困っているのか、どうすればその困りごとが解決できるのか、まず、悩まずご相談ください。

指定居宅介護支援センターかみじ荘

TEL 0235-62-2026

こんな時はお気軽にご相談ください

- ケガや病気などで日常生活に支障がでてきた。
- 買い物や食事の準備・掃除ができなくなった。
- デイサービスで入浴やリハビリをして他者と交流をもち気分転換がしたい。
- 病院から退院し介護が必要な状態だが、どんなサービスが良いかわからない。
- 介護ベッドや車いす・ポータブルトイレ等の介護用品を知りたい。
- 手すりの取り付け等の住宅改修について知りたい。



ケアマネジャーが居宅サービス計画(ケアプラン)を作成

- ご本人、ご家族と一緒に居宅サービス計画(ケアプラン)の作成。
介護サービス計画の内容・利用料等を説明します。
医療・福祉・介護保険サービスとご家族との連絡調整を行います。



相談日・相談時間

- 月曜日～金曜日(土・日・祝日は事前にご連絡をお願い致します。)
 - 8:30～17:00(指定以外の時間も調整いたします。)
- 「新しい生活様式」に合わせた訪問にご協力をお願い致します。
- ・ ご自宅に訪問時はご利用者・家族様のマスクの着用をお願いします。
 - ・ 真正面は避け横並びで間隔をあけて面談をします。
 - ・ お部屋の換気をお願いします。



申し込みからサービス提供までの流れ

1 申し込み

- お電話や訪問でご相談下さい。
- 要介護認定がまだの方は、代行申請します。

2 訪問相談

- ケアマネジャーが訪問させていただきます。
- ご本人、ご家族の悩みやご希望をお聞きします。
- サービス利用費の説明をします。

3 ケアプランの作成

- 安心して介護サービスを受けながら自宅で過ごせるよう
ご本人、ご家族の意向を踏まえて一緒に作成します。

4 サービス担当者会議

- 必要なサービス提供事業者が集まってサービス内容を確認します。
- デイサービス、訪問介護、福祉用品、訪問看護等。

5 サービス開始

- デイサービスや訪問介護のサービスを始めます。
- ご本人、ご家族の希望の曜日、時間にあわせて
始めます。



ご相談・居宅サービス計画(ケアプラン)作成は**無料**です。
新規のご相談をお待ちしています。

令和3年度 羽黒百寿会地域貢献事業・介護者リフレッシュ事業
羽黒地域介護者交流のつどい

講話

「栄養たっぷりの食事を学ぼう」

～家庭で作る簡単介護食～

ご案内

今現在ご家族を自宅で介護されている方や、介護食について興味のある方を対象に講話と交流会を開催致します。家庭でも簡単に作れる介護食や普段の食事について学んでみませんか？お互いの介護の悩みや不安を共有しつつ交流も出来ます。また、介護についてのミニ相談も予定していますので、皆様の参加をお待ちしています。



日時

令和3年9月3日(金)
午後1時30分～3時30分

場所

羽黒町コミュニティセンター
集会室

内容

- ミニ講話
「栄養たっぷりの食事を学ぼう」
家庭で作る簡単介護食

鶴岡市長寿介護課 介護予防支援員 管理栄養士
阿蘇 美沙紀 氏

- 個別相談・参加者との自由交流など

定員

30名程度(先着順)

申込み

- 羽黒百寿会(特別養護老人ホームかみじ荘) ☎ 0235-62-2233
受付時間 8:30～17:15(月～金)
- 地域包括支援センターはぐろ ☎ 0235-64-8281
受付時間 8:30～17:15(月～金)



申込締切

8月13日(金)まで電話にて、お申し込みください。
☆先着順ですのでお早めにお申し込みをお願いします。

令和3年度に頂いたご寄付については、次号でご紹介いたします。